

地域環境ジュニアパトロール

活動報告書

グループ名	ワイワイクラブ
-------	---------

テーマ	環境（川の汚れや緑とふるさと調べ）
-----	-------------------

メンバーの氏名	学校名	学年
釋 氏 浄 人	福井市足羽第一中学校	1年
堀 江 雄 大	福井市足羽第一中学校	1年
西 村 幸 子	福井市足羽第一中学校	1年
藤 川 友 子	福井市足羽第一中学校	1年
加 藤 純 一 朗	福井市足羽第一中学校	1年
大 味 裕 史	福井市足羽第一中学校	1年
藤 田 美 鈴	福井市足羽第一中学校	1年

指導者氏名	伊 藤 啓 江	教職員
-------	---------	-----

① 動機

最近のニュースで、自然破壊のことがよく出て来ています。そのニュースで自然破壊がどこまで進んでいるのか、自分達で確かめてみようと思いました。

② 確かめてみること

1. 緑がどれくらい残っているか
2. ゴミがどれくらい落ちているか
3. 昆虫がどれくらいいるか（セミ、カブトムシ）

準備した物

1. メモ帳、筆記用具
2. メモ帳、軍手、火ばさみ、ゴミ袋、筆記用具
3. メモ帳、筆記用具

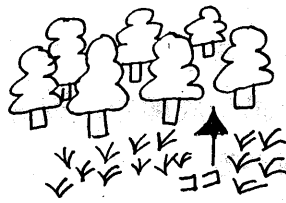
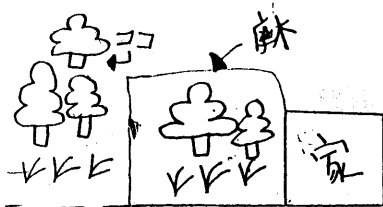


実施日時と実施場所

- | | | |
|----------|---------|---------------------|
| 8月6日 | PM2:00～ | 1. 東郷（上、中、下、毘沙門町） |
| 8月9日 | AM9:00～ | 1. 〃（脇三ヶ町、みどり団地） |
| 8月13・14日 | PM2:00～ | 1. 六条（六条団地1・2） |
| 8月20・22日 | PM2:00～ | 3. 酒生（稲津町、成願寺町、篠尾町） |
| 8月23・24日 | PM2:00～ | 3. 一乗（朝倉氏遺跡周辺） |
| 8月26・27日 | PM2:00～ | 2. 文珠（文珠小学校周辺） |
| 8月28・29日 | PM2:00～ | 2. 上文珠（東大味） |

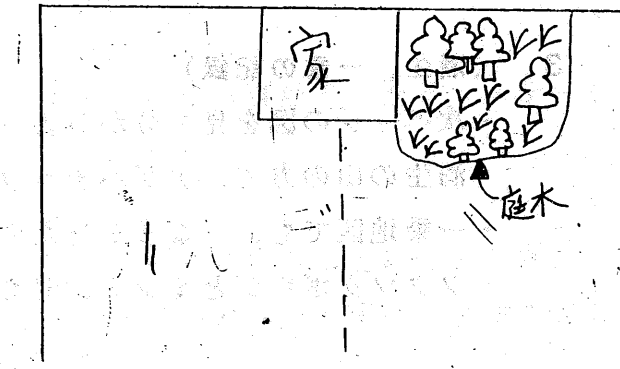
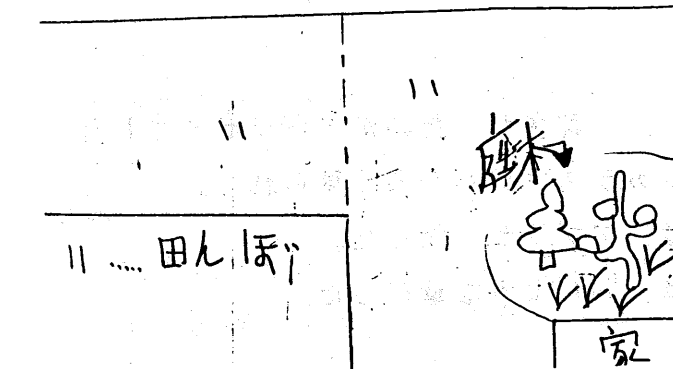
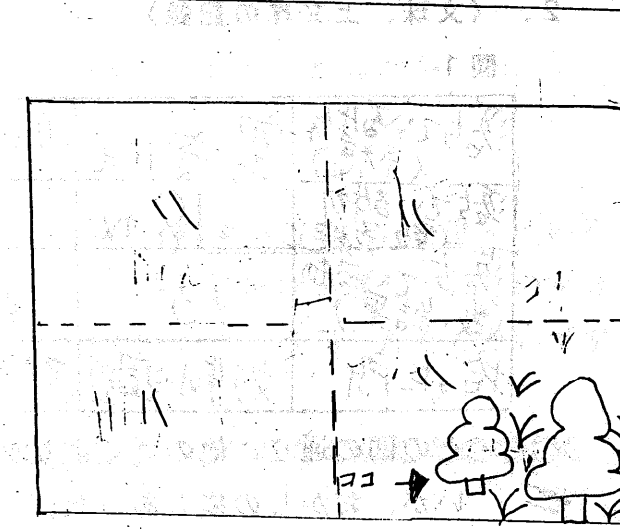
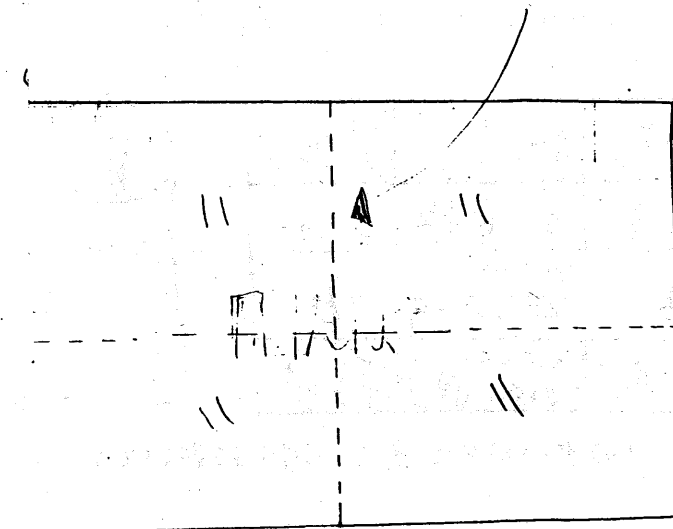
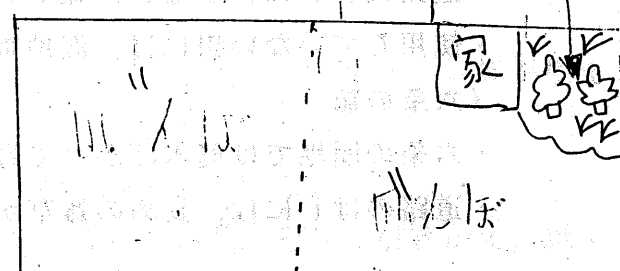
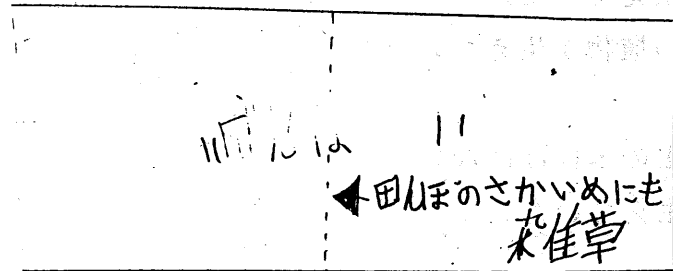
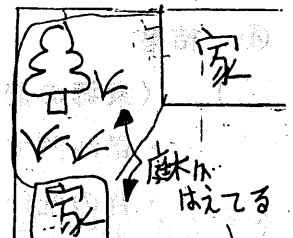
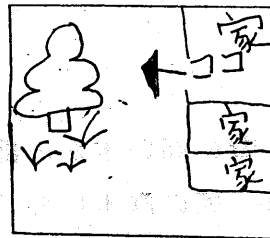
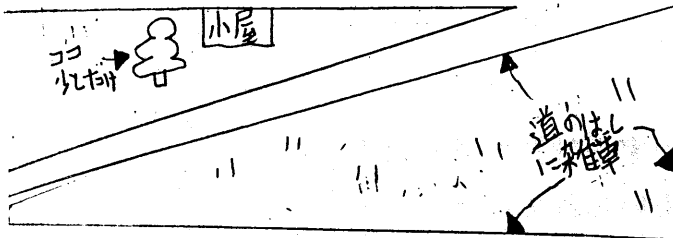
③ 実施方法

1. 「緑がどれくらい残っているのか」を調べる
 - ①実施する所へ行く。（上・中・下毘沙門、脇三ヶ、みどり団地）
 - ②周りを注意深く見る。
 - ③メモをする。
2. 「ゴミがどれくらい落ちているか」を調べる
 - ①実施する所へ行く。（文珠小周辺、東大味）
 - ②火ばさみでゴミを拾う。
 - ③ゴミを仕分けする
 - ④メモをする。



福井市
三ヶ田町の緑のあった所
(地図)

◀ 続いている



3. 「昆虫がどれくらいいるか」を調べる

- ①実施する場所へ行く。(稲津、篠尾、成願寺、朝倉氏遺跡)
- ②どんなセミが鳴いているのかを調べる。
- ③メモをする。
- ④その他の昆虫を調べる。

④ 結果

1. 〈東郷の記録〉

- ・毘沙門では、背の高い木が一部の家や神社で見られた。
- ・背の低い木は、家の庭木に多く用いられていた。
- ・道路のわきに、少ないが雑草が生えていた。
- ・使用していない田には、湿地帯の植物が生えていた。

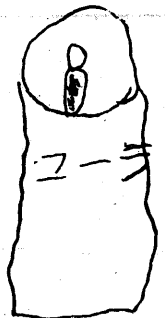
〈六条の記録〉

- ・六条の団地では庭木ばかりで野生の木はほぼない。
- ・道路のはしには、長めの雑草が生えていた。

2. 〈文珠、上文珠の記録〉

図 1

落ちている物 (予想)	空きかん	タバコのおが	紙くず	空きビン
落ちている物 (数:予想)	18 かん	15 本	3~6 枚	3 本
落ちている物 (数:結果)	15	90 本	このあたり 四分の一ほど	1 本
拾った所	文珠小週辺	文珠小週辺	東大味・ 文珠小週辺	東大味

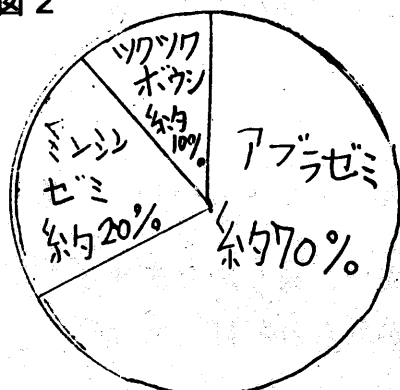


- ・上の図の通り、他のゴミよりタバコのおがが多く、図1に書いていないが、おかしの袋もあった。
- ・くらべてみると、上文珠も文珠もあまり変わらなかった。

3. 〈酒生、一乗の記録〉

- ・次ページの図を見て分かるように、一番多かったのがアブラゼミでした。
- ・酒生の山の方で、アゲハチョウやカラスアゲハが多く見られた。
- ・一乗地区でも、一番多かったのは、アブラゼミだった。
- ・ツクツクボウシとミンミンゼミは、同じような量だった。

図 2



← 〈酒生でセミがいた割合〉

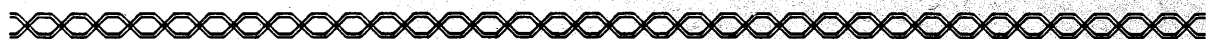
酒生でセミが鳴いていたのと、つかまえたのを参考にして、割合を出してみました。

4. 〈分かったこと〉

- ・庭木には日光が当たりやすいように、背の高い木よりも低い木の方が多かった。
- ・使っていない田のところには、セリ、ミズオオバコ、ツボスミレ等が生えていた。
- ・道のはしっこには、エノコロなどの雑草が生えていた。
- ・予想していた通り、空き缶が一番多く落ちていた。それに引きかえ、紙くずはあまり落ちていなかった。
- ・山の方面をふくめてみんなが知っているセミしか見つからなかった。

⑤ これからどうするといいいのか？

僕たちは、ゴミの量や、住宅地の緑の量から、自然破壊がどのくらい進んでいるのかを調べた結果、このようないなかでも、けっこう自然破壊が進んでいるのが分かったので、みんなにゴミを捨てないように呼びかけたり、処理したりしたいです。



校下には、地元であっても意外と気づかない歴史的な遺跡・遺物が数多く残されているので、夏休み中に調べてみました。

調査内容は、次のように地図や壁画に表して、文化祭当日展示したり、ステージで発表したりしました。

壁画

校区内で行なわれている祭りを5つ選び、それを壁画にすることにしました。

まず、原画を描き、ベニヤ板に下絵を書き、ポスターカラーを使って色塗りをし

ました。これは大変難しく、原画で想像していた色や塗りが、思うようにできず苦勞しました。

選んだ祭りは、次の5つです。

・したんじょう祭　・おつくね祭　・だんごまき　・朝倉まつり　・花山権現

壁画は体育館に飾られ、文化祭当日は、壁画の横で、祭りのビデオをながしました。壁画とビデオを見比べながら見学している姿が見られ好評でした。

地図

資料を参考にしながら、下にした4つの時代にわけ、年代別に地図を作成しました。

まず、白地図に手分けして、山は紫色、水田は緑色、川は青色、住宅は赤色と色をつけました。その地図上に、遺跡の名前を記入し、資料に基づいて遺跡の絵をイラストで描いたり、写真を貼りました。さらに遺跡の模型を造り、貼り付けました。細かい仕事で大変だったが、一生懸命やりました。

時代は次のようにわけました。

・古墳時代～平安時代　・鎌倉時代～室町時代　・江戸時代　・明治時代～平成時代

発表

発表のグループは、事前に現地調査に行き、写真やビデオを撮ったりしながら、これをもとに、OHP、実物投影機で紹介しました。

発表当日は、いかにふるさとの自慢を楽しく紹介できるかということに力を入れ、日曜7時からの『投稿特報王国』形式で、発表しました。

それぞれウッチャン、ナンチャンチームにわかれ、
ウッチャンチームは、

『一乗滝』について、『虎御前』について、『明智神社』について

ナンチャンチームは、

『オカマ古墳』について、『地藏院』について、『六条の獅子舞』について発表しました。

身近な地元であっても、意外と気づかない歴史的な遺跡、遺物を改めて見直し、すばらしい校下に恵まれた生徒としての誇りを、再認識した一日でした。

冊子

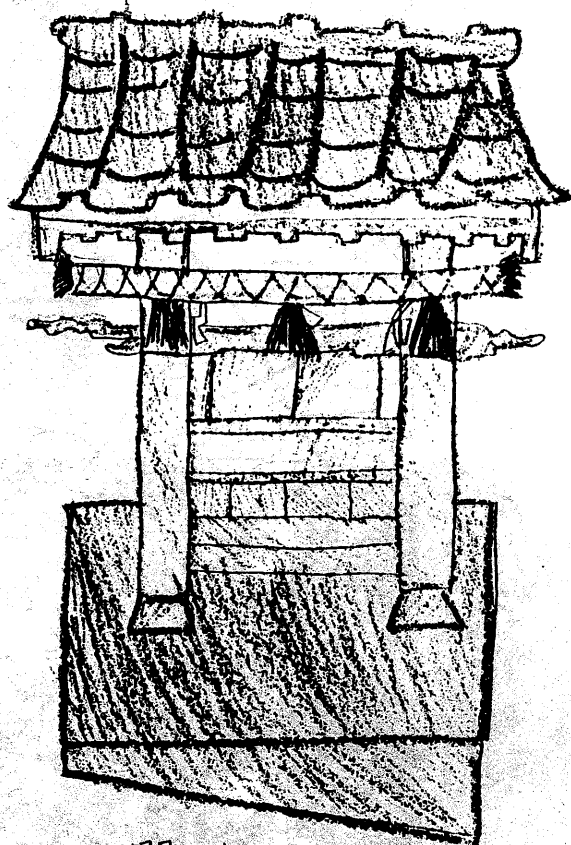
夏休み中に、調べてきた歴史的な遺跡、遺物の調査内容を、パソコンでうち、印

刷しました。

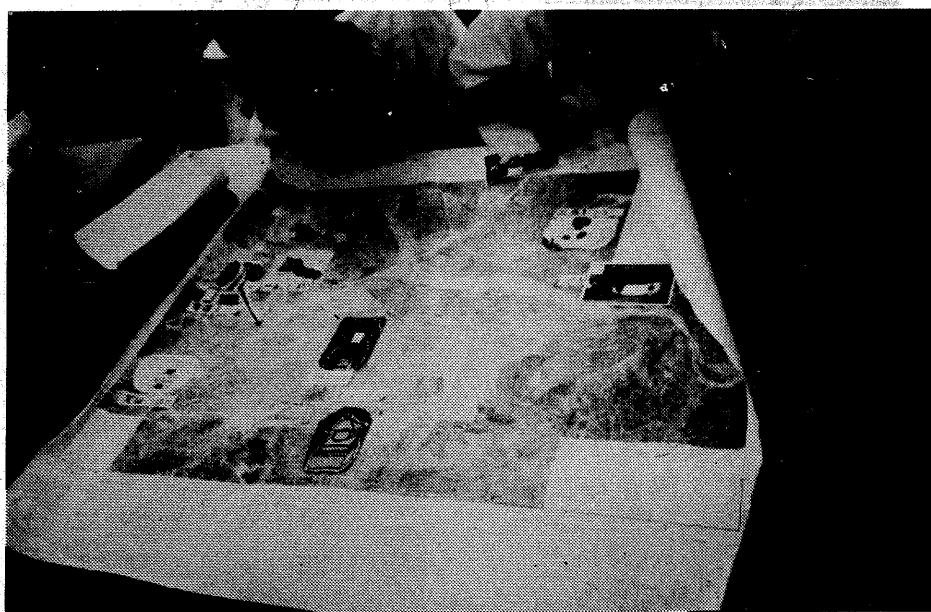
最初、はじめてパソコンに触れる人も多く、どうなることやらとやきもきさせましたが、すぐ上手になりました。



足羽一中校下の祭のひとつのだんごまきの
壁画を書いているところです。



明智神社

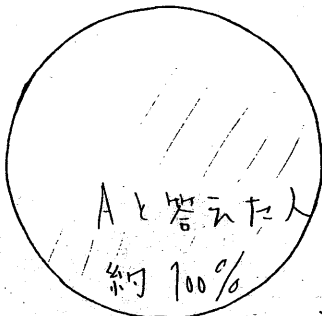


これは地図作りをして
いるところです。
各地区のふるさと自慢を
地図に表して書いています。

〔地図について〕

・この地図はホテルについての地図です。丸がついている所が、ホテルのいた所です。ホテルはだいたい2匹～数えきれないほど など様々な例がありました。最近減ってきているホテルも、ちゃんという所にはいるということがわかった。

〔地図〕

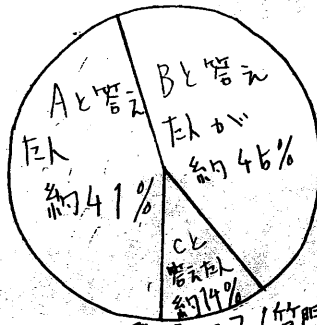


グラフ 1 (質問1)

ホテルを、知っているか

A 知っている。

B 知らない。



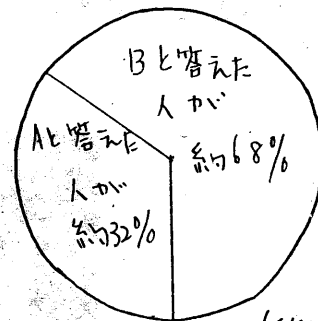
グラフ 2 (質問2)

ホテルを見たことか
ありますか(家の近くで)

A 数えきれないくらい
見た。

B. 1匹見た (1～3匹)

C. 見たことか知らない。



グラフ 3 (質問3)

ホテルの住みつきやうな
川がありますか?

A ある。

B. ない。

ホテル調査のアンケート 結果



この写真は水質調査を
している所です。

全学年の科学部が協力して
仕事ことができました。



この写真も、水質調査を
している所です。



水質調査で水生昆虫を
さがしている所です。

⑥ 反省、感想

加藤 純一郎

- ・ぼくは地図づくりでした。最初はレタリングでレタリングイラストレーションの字を書いていきました。江戸時代のことを書いたり、筆記体の字を書いたりしました。
- ・パトロールに参加してみて、今行われている自然破壊がどこまで進んでいるのかがよく分かった。

大味 裕史

- ・パトロールをしているときに、遊んでいたけれど、とても興味深い発見ができた。

堀江 雄大

- ・ぼくは冊子を作りました。今まで足羽一中校区の遺跡などについて調べてきたから、パソコンをうちまちがえたらたいへんだと思って、きんちょうしながらパソコンをうちました。ぼくは東郷の遺跡のレポートをうちました。自分の作ったのが、本に1ページとしてのるなんてとても感動しました。
- ・パトロールにあまり行けなかったけれど、いろいろと知らなかったことが分かった。

釋氏 浄人

- ・僕たちはゴミの量や、住宅地の緑の量からして、自然破壊がどれくらいすすんでいるかを調べた。その結果、このようないなかでも、けっこう自然破壊がすすんでいることがわかった。

藤田 美鈴

- ・パトロール中に、あまりみんなと協力ができなかったけれど、いい思い出が出来た。

西村 幸子

- ・私は冊子の係でした。さいしょはぜんぜんわからなかったけど、あの方にはいそがしかったです。わからなかったときは、先生に聞いたり、だれかに聞いたりして、助けてもらいました。はじめには、カナをうつときにさがすのに苦労しました。うちあがったら、印刷をするときにいろんなトラブルがおきました。
- ・パトロール中に、少しだけど、みんなと協力ができて良かったと思う。

藤川 友子

- ・わたしは東郷の「おつくね祭」の絵を原画をもとに、大きい板に描き着色しました。作業のなかでも、色をぬるときが、一番大変だったように思います。色をぬ

っているときにはみ出たところとかを、修正するときや、色と色を混ぜてちがう色を作るときもとても大変でした。

・用事があったせいで、参加ができない日があったので、少し残念に思っている。

⑦ 指導者の感想

中学生になり、自分たちが住んでいる身の回りの環境について考えたいと、ふるさとの歴史や生物環境を調べ始めました。

まず、身近なゴミについて、どれくらい落ちているのかを調べてみようかと話し合っていました。暑い中、ゴミ袋を片手に、活動している姿を見るにつけ、頼もしさを感じました。

今年は夏の訪れとともに、大腸菌O-157による食中毒が大発生しました。そのため、水質調査のため川に入るにも、細心の注意が必要でした。たえず流れている川の水さえも、汚染を心配しなければならないとは、どういうことなのでしょう。大きな自然の前には、人の力なんて微力だ。細菌の反撃だ。…等。しかし、微力な人間だからこそ、『ふるさと調べ』をとおして、一人一人の力は小さいが、協力し合えばそれが何十倍にもなることを確かめていったようです。

すばらしい歴史に恵まれた郷土を見直し、自分たちで少しでも自然環境を守っていききたいと立ち上がりました。これからも、この姿勢を保持して行ってほしいと思います。

生徒たちに、このようなすばらしい機会を与えて下さった県環境保全課の方々始め、お世話になった皆様方に、紙面を借りて深く御礼申し上げます。有り難うございました。

